

第 40 回 NISSAN CUP 神奈川トライアスロン大会
第 31 回 TRIJ 関東ブロックトライアスロン選手権大会
第 37 回トライアスロンジャパン東京ブロックトライアスロン選手権大会
栃木・茨城・群馬・埼玉・千葉・山梨・神奈川県・東京都選手権大会
2026 TRIJ トライアスロンエイジグループ・ナショナルチャンピオンシップシリーズ

競技運営マニュアル

【TO 用】

第 1.X 版

作 成 者	花井 哲
作 成 日	2026 年 5 月 8 日
最終更新日	2026 年 5 月 8 日

目次

第 40 回 NISSAN CUP 神奈川トライアスロン大会	1
目次	2
1. はじめに	3
2. 大会概要	4
3. 競技内容/スケジュール	5
4. 競技規則(ローカルルール)	8
5. TO 業務	16
6. コースマップ	19
7. 計測ポイント	21
8. エリア詳細図	22
改版履歴	26

■ 略語一覧

TO	Technical Official テクニカル・オフィシャル（審判員）
TL	Team Leader チームリーダー
TD	Technical Delegate 技術代表
HR	Head Referee 審判長
CTO	Chief Technical Official チーフ・テクニカル・オフィシャル（各パートのチーフ TO）
SCTO	Sub-Chief Technical Official サブチーフ・テクニカル・オフィシャル（各パートのサブチーフ TO）
VO	Volunteer ボランティア
MD	Medical メディカル、医療チーム
KnTU	一般社団法人神奈川県トライアスロン連合

1. はじめに

このたびは、「第 40 回 NISSAN CUP 神奈川トライアスロン大会」の競技運営にご協力いただきありがとうございます。

本年は一般の部・リレーの部、スプリントの部および選手権の部で実施します。TRIJ エイジグループナショナルチャンピオンシップ出場ポイント獲得大会でもあり、熱いレースが繰り広げられます。ご対応いただく TO の皆さんにおかれましては、本大会の運営方法について事前にご理解いただき、大会運営者側の立場として、選手・応援者・観戦者等、会場に会場される皆さんへの対応をお願いいたします。

また、「TRIJ 東京ブロック選手権」、「TRIJ 関東ブロック選手権」及び「各都県選手権大会」を併催して開催いたします。また第 80 回国民スポーツ大会「青の煌めきあおもり国スポ 2026」の栃木・茨城・群馬・埼玉・千葉・山梨、神奈川各県および東京都代表選考レースとなっています。

エイジのレースと合わせて、エリートのレースも開催することになりますので、各カテゴリーについて競技運営マニュアルをご確認の上、事前に内容をご理解いただいた上で、各チーフ、サブチーフを中心に担当業務を実施いただけますようお願いいたします。

チームリーダー：浅野 拓哉

技術代表：花井 哲

2. 大会概要

大会名称	第 40 回 NISSAN CUP 神奈川トライアスロン大会 兼 第 31 回トライアスロンジャパン関東ブロックトライアスロン選手権大会 兼 第 37 回トライアスロンジャパン東京ブロックトライアスロン選手権大会 兼 栃木・茨城・群馬・埼玉・千葉・山梨・神奈川選手権大会
開催日	2026 年 6 月 14 日(日)
会場	神奈川県横須賀市浦郷沖水域及び日産自動車追浜工場内特設会場
主催	一般社団法人神奈川県トライアスロン連合 (KnTU)
主管	一般社団法人神奈川県トライアスロン連合 (KnTU)
特別協賛	日産自動車株式会社追浜工場
協賛	ローソン、味の素、Champion System、フォトクリエイト
協力	横浜市トライアスロン協会(YTA)・川崎市トライアスロン協会(KTA) 公益社団法人トライアスロンジャパン関東ブロック協議会・公益社団法人トライアスロン ジャパン東京ブロック協議会ほか
後援	公益社団法人トライアスロンジャパン (TRIJ)・横須賀市・横須賀市教育委員会 横須賀商工会議所・公益財団法人神奈川県スポーツ協会

<大会役員・実行委員会>

役職	氏名
大会会長	中山 俊行
大会副会長	渡邊 英夫
実行委員長	高崎 聡
レースディレクター(RD)	杉浦 博
チームリーダー(TL)	浅野 拓哉
大会本部	杉浦 真由美
技術代表(TD)	花井 哲
審判長(HR) *スプリントの部/一般の部/各リレーの部	高田 友希
審判長(HR) *選手権の部	北岡 聡

<審議委員>

カテゴリー	氏名	
スプリントの部 一般の部	中山 俊行	大会会長
	高崎 聡	実行委員長
	花井 哲	技術代表
選手権の部	中山 俊行	TRIJ 常任理事
	高崎 聡	実行委員長
	花井 哲	技術代表

3. 競技内容/スケジュール

1. 競技カテゴリー

2. No	カテゴリー		エントリー人数		競技開始	レースナンバー	スイムキャップ
1	スプリントの部		91 人		09:00～ [*1] (09:00～ 09:05)	501-591 【黒】	赤
	(高校生)	男子		(7 人)		501-507	
		女子		(1 人)		577	
	(一般)	男子		(69 人)		508-576	
		女子		(14 人)		578-591	
2	一般の部		177 人		09:35～ [*1] (09:35～9:43)	101-277 【青】	青
	(一般)	男子		(161 人)		101~260, 277	
		女子		(16 人)		261-276	
3	一般リレーの部		6 組		9:45～[*1]	401-406 【青】	青
4	選手権の部[*3]	女子	27 人		12:15 [*2]	61-87 【赤】	黄
		男子	57 人		13:40 [*2]	1-57 【緑】	白
	合計		401 人				

[*1] ローリングスタート：5 秒おきに 2 人ずつスタート(計測ポイントを踏んでから計測開始)

[*2] フローティングー斉スタート：海上にロープを張り、1m おきに選手がロープを握ってフローティングで並び一斉スタート

[*3] 選手権の部はスタート 50 分前～30 分前までの 20 分間試泳時間をとります

3. 距離/周回数

No	カテゴリー	総距離	スイム	バイク	ラン
1	スプリントの部	25.75km	750m (750m x1)	20km (6.8km x3)	5.0km (2.5km x2)
2	一般の部	51.5km	1500m (750m x2)	40km (6.8km x6)	10.0km (2.5km x4)
3	一般リレーの部	51.5km	1500m (750m x2)	40km (6.8km x6)	10.0km (2.5km x4)
4	選手権の部	51.5km	1500m (750m x2)	40km (3.7km x10+1.55km x2)	10.0km (2.0km x5)

制限時間

No	カテゴリー	スイム	バイク	ラン
1	スプリントの部	スタート後 30 分	スタート後 1 時間 20 分(80 分)	スタート後 2 時間(120 分)
2	一般／一般リレーの部	スタート後 60 分	スタート後 2 時間 40 分(160 分) 12:20 以降新しい周回に入らない	スタート後 4 時間(240 分)
3	選手権の部	-	-	-

4. タイムスケジュール

<2026 年 6 月 14 日(日)> ※詳細は、別紙タイムテーブル資料を参照

内容		時間	
集合(役員/TL/TD/HR)		05:00	
集合(スイムチーフ/サブチーフ)		05:30	
集合(各チーフ/各サブチーフ)		06:00	
集合(全 TO)		06:30	
集合(ボランティア)@本部		07:15	
【選手】 駐車場オープン		07:30	
【選手】 受付		07:30 - 08:30	
【選手】 開会式		08:30 - 08:35	
【選手】 競技説明会(スプリント/一般/一般リレー)		08:35 - 08:40	
【選手】 競技説明会(選手権男女合同)		10:50 - 11:00	
トランジションチェックイン			
	スプリントの部	07:40 - 08:40	
	一般／一般リレーの部	07:40 - 09:00	
	選手権の部 (エリート)	11:00 - 11:30	
競技		招集	スタート - 終了見込
	スプリントの部	08:40	9:00 - 11:04
	一般／一般リレーの部	09:20	9:35 - 13:45
	選手権の部 (エリート女子) 試泳 11:25-45	12:00	12:15 - 14:45
	選手権の部 (エリート男子) 試泳 12:50-13:10	13:25	13:40 - 16:00
トランジションオープン (バイクピックアップ)			
	スプリントの部	10:45 - 11:20	
	一般／一般リレーの部	12:55 - 13:50 *13:50 以降は、選手権の競技展開を確認し、適時バイクピックアップへ安全に誘導する	
	選手権の部 (エリート女子・男子)	15:10 - 16:15	
表彰式			
	スプリント	11:40 - 11:55	
	一般、一般リレーの部、チーム戦	14:00 - 14:15	

	選手権の部	16:00 - 16:15
【選手】	閉会式	16:15 - 16:20
解散(全 TO)	*業務終了後、順次流れ解散	16:30 頃

表彰対象

No	カテゴリー	詳細	男子						女子						
			1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	
1	スプリントの部	総合	○	○	○				○	○	○				
2	一般の部	総合	○	○	○				○	○	○				
3	一般リレーの部	総合	○	○	○				○	○	○				
4	選手権の部	関東ブロック選手権	○	○	○				○	○	○				
		神奈川県選手権	○						○						
5	チーム戦	男女区別なし	○	○	○										
			金 11 銀 9 銅 9												

4. 競技規則(ローカルルール)

- 本大会は「トライアスロンジャパン競技規則」及び以下の「ローカルルール」が適用されます。
- ルールに違反している選手を確認した場合の対応

カテゴリー	違反時の対応
スプリントの部 一般／一般リレーの部	・選手への是正指導 *注意を促しても是正されない場合は HR へ報告
選手権の部	・HR へ報告し裁定を仰ぐ

1. 全般

- アクションカメラ（GoPro 等）を着用してレースに出場することはできない。バイクへの装着も不可。
- 「ウェットスーツ」「自転車」「自転車(競技用)ヘルメット」「自転車及びランニング用シューズ」は、大会当日に選手自身で持参すること。忘れた場合はレースには参加できない。(当日の貸し出しは無し)
エイジに関しては、ワラチでのランを許可する。
- 選手への外部からの個人的援助は禁止。(選手間同士の援助は OK)
- WEB 完走証は 6/17(水)頃から神奈川県トライアスロン連合ホームページにて公開する。
リザルトは本部に掲示される QR コードにて速報公開。(大会終了後、神奈川県トライアスロン連合ホームページにて正式なりザルトを公開する)

2. 競技説明会

- スプリントの部・一般/一般リレーの部は、事前に競技説明資料を Web で公開する。
大会当日は会場にて、注意事項や当日変更点を説明する。
- 選手権の部は、事前に競技説明資料を Web で公開するとともに、大会当日に会場にて競技説明会を実施する。
ペナルティに関する事項は、競技説明資料にて事前確認をお願いします。
- 大会当日の対応は以下の通りとする。

カテゴリー	大会当日の競技説明会
スプリントの部 一般/一般リレーの部	・トランジション横（キッチンカーエリア）にて実施する。 <時間> 08:35～08:40 ※競技全般の注意事項、当日の変更点等を説明する。
選手権の部	・トランジション横（キッチンカーエリア）にて実施する。 <時間> 男女合同：10:50～11:00 ※ウェットスーツ着用可否、当日の変更点等を説明する。

<選手権の部 競技説明会実施場所>

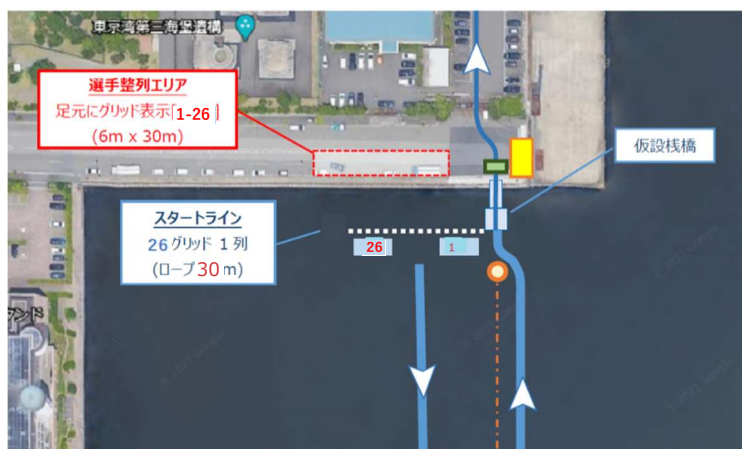


3. スイム

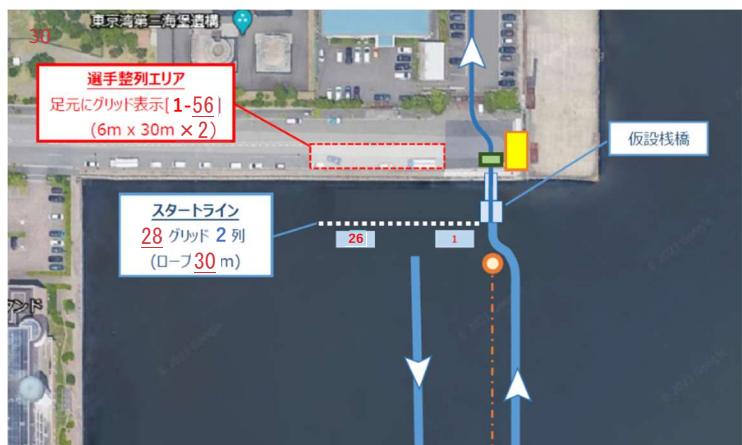
■ スタート手順

カテゴリー	スタート手順
スプリントの部 一般の部	・ローリングスタート 5 秒おきに 2 人ずつスタート(計測ポイントを踏んでから計測開始)
選手権の部	・試泳をスタート 50 分前から 20 分間（スタート 30 分前まで）実施する ・フローティングー斉スタート <詳細手順> ① MC がレースナンバー順に選手をコールする。 ② コールされた選手は「選手整列エリア」（陸上）の足元に表示のスタートグリッドを選択する。（可能であればロープでシミュレーションする。） ③ 全員整列後、先頭から順番にスロープを降りて入水する。（マスクを廃棄する） ④ ロープに表示されたグリッドを掴み、仮設栈橋側のスターターを見て待機する。 グリッド 1～37 は、ロープを左手で掴み前列に待機 グリッド 38～74 は、ロープを右手で掴み後列に待機 ⑤ 全員がロープを掴んで待機したことを確認し、ホーンで一斉スタートする。

<選手権の部(女子) 試泳 11:25-11:45 招集スタートエリア 12:00>



<選手権の部(男子) 試泳 12:50-13:10 招集スタートエリア 13:25>



■ 不正スタート(フォールス・スタート)

- 選手権の部においては、フォールス・スタートの選手は、第 1 トランジションにて 15 秒間のタイムペナルティを科す。

■ ウェットスーツの着用基準は以下の通り

カテゴリー	ウェットスーツの着用基準
スプリントの部 一般の部	トライアスロン用のウェットスーツ着用必須 ※ラッシュガードでの代替は不可 ※未着用の場合は、スイムスキップでの競技継続を認める。
選手権の部	水温 20.0℃以上：着用禁止 水温 16.0℃～19.9℃：着用許可 水温 15.9℃以下：着用必須 ※水温はスタートの 1 時間 10 分前に測定し、1 時間前に着用可否を発表する。 ＜女子＞ 測定：11:05、着用可否公表：11:15 ＜男子＞ 測定：12:30、着用可否公表：12:40 ※強風、大雨、温度変化など気象条件により、技術代表（TD）とメディカルは、スイム距離やウェットスーツの使用可否を決定する。

■ スイムスキップ

- 本大会では、スプリントの部、および、一般の部において、スイムスキップを認める。
- スイムスキップを希望する選手は、当日スイム招集エリアにてスイムスキップを申告する。
- アンクルバンド受領後、スタートの計測マットを通過していない選手についても TO・審判員へ申し出ることスキップを認める。その場合は、アンクルバンドを一旦 TO・審判員へ返却し、バイクスタート時刻に合わせてトランジションスキップゾーンへ集合する。
- バイクスタート時刻は、各カテゴリーのスイム競技終了後(制限時間後)を目安とする。
- バイク・ランのタイムは計測するが、参考記録扱いとし表彰対象にはしない。

カテゴリー	受付時刻	受付場所	バイク スタート時刻	スタート場所
スプリントの部	08:40	スイム招集エリア	9:40	トランジション スキップゾーン
一般の部／一般リレー の部	09:30	スイム招集エリア	10:50	トランジション スキップゾーン

■ スイム試泳

- 本大会では仮設栈橋の密防止の観点から、選手権を除く全カテゴリーにて試泳は実施しない。
- スイム競技に不安のある選手へは、スイムスキップを推奨する。
- 選手は陸上で十分なウォーミングアップを実施し、事前にシャワーを浴びてスタートする。

■ 仮設栈橋のスロープの定員を、安全上の理由により同時に最大 10 名までとする。

- 競技中であっても、一時的にスロープの移動に制限をかける場合がある。

■ 仮設栈橋のスロープは、歩いて落ち着いて移動する。

■ レスチューブの使用については以下の通り

- スプリントの部、および、一般の部にて使用可能とする。

- レスチューブを使用した（膨らました）選手は、DNFとする。
- ボディナンバリング
 - 配布されているボディナンバーシールを指定箇所に貼り付けること
選手権の部：4 枚（両腕・両足）+ 2 枚（スイムキャップ用）
スプリント/一般の部：2 枚（両腕）
- 仮設栈橋からの飛び込みは禁止とする。足から入水する。
- スイムでは、支給されたスイムキャップを必ず着用する。
- 足ひれ、パドル等の推進補助具の使用は禁止する。
- 危険回避及び体調保全のため、コースロープにつかまり小休止することは可能。ただし、コースロープ等をつかんで進むなどは禁止する。

4. バイク

■ ドラフティングの扱いは以下の通り

カテゴリー	ドラフティングの扱い
スプリントの部 一般／一般リレーの部	禁止 <ドラフティング違反時の対応> ・「ブルーカード」を提示し、ストップ＆ゴーのペナルティにて対応する。 *TRIJ 競技規則 第 108 条 但し、レース展開や周囲の安全管理上、ストップ＆ゴーが困難な場合には、ランペナルティボックスでのタイムペナルティを適用することがある。
選手権の部	許可（ドラフティングレース） ただし、異なる性別間でのドラフティング、周回遅れになった際、同一周回選手間以外でのドラフティングを禁止する。（違反の場合はランペナルティボックスにて 1 分間のタイムペナルティ）

■ バイク試走

- 本大会では、全カテゴリーにてバイク試走は実施しない。
 - 選手は、事前にコースマップ等にて、コース・周回数を把握して出場すること。
- バイクコースのグランドライブ手前の陸橋は安全のため、追い越しを行う場合については最大限の注意を払うこと。



■ 一般の部は 12:20 以降、新しい周回に入らない

■ バイク競技に使用する自転車は以下の通り

カテゴリー	自転車
スプリントの部 一般／一般リレーの部	ロードレーサー、TT バイク（左記以外の自転車では参加不可）
選手権の部	TRIJ 競技規則に準拠

※『固定ギヤ車』『ブレーキ無し車』など、競技者に危険を及ぼす恐れのある自転車の利用は厳禁

- ヘルメットは『自転車専用』を必ず着用。「カスク」「ヘッドギア」等の利用は厳禁。
- バイク競技中、レースナンバーは背中によく見えるよう着用する。レースナンバーの改造、折曲げは厳禁。
※ バイク用レースナンバーシールは、ヘルメットの前面とバイクサドル左下フレームに貼りつける。
- バイクパートでは、エイドステーション無し。
- 「ペットボトル」をバイクボトルホルダーに入れて競技を行うことは禁止。
- スマートフォンのバイクへの取り付けは、GPS/サイクルメーターとして使用する場合に限り許可する。通話や撮影に使用すること

は禁止。

■ 選手権の部の周回遅れ

- 本大会はラップされて周回遅れとなった選手についても、競技の継続を認める。
- 異なる性別間でのドラフティングは認めない。
- 異なる周回選手間のドラフティングは不可とするが、そのままレースを継続することができる。

(ラップされた選手同士のドラフティングについては、これを認める。(ローカルルール))

■ 選手権の部のホイールステーション用のホイールの預託・返却

- トランジションチェックイン時(11:00～11:40)に、トランジションエリアにてホイールステーション担当の TO へ預託する。
- 預託されたホイールは TO が車で運搬し、GRANDRIVE のホイールステーションへ設置する。
- 選手権の部男子のバイク競技終了後、TO が車でトランジションエリアへ運搬し、その後選手へ返却する。
- 汎用ホイールは用意しない。

■ バイクスキップ (リレーのみ)

- 本大会では、一般リレーの部においてのみバイクスキップを認める。
- バイクスキップを希望する選手は、当日スイム招集エリアにてバイクスキップを申告する。
- バイク DNF の場合は、TO の指示に従ってランパート選手はスタートできる。
- ランのタイムは計測するが、参考記録扱いとし表彰対象にはしない。

カテゴリー	受付時刻	受付場所	ランスタート時刻	スタート場所
一般リレーの部	9:30	スイム招集エリア	12:30	トランジション スキップゾーン

5. ラン

- 選手権の部のエイドステーションにおいては、リタリングゾーンを設置する。
 - リタリングゾーンのエリア外にてゴミを捨てた選手にはタイムペナルティ 15 秒を科す。
- ランではシューズを着用すること。「裸足」での競技禁止。
- ラン競技中、レースナンバーは前面によく見えるよう着用する。レースナンバーの改造、折曲げは厳禁。
- ヘッドフォンやイヤホンを装着したまま競技を行うことは禁止。
- ランの周回チェックはアンクルバンドによる「機械周回チェック」を行う。
- 選手権の部への影響を回避するため、一般の部は、13:45 選手権折返し地点にてカットオフを行う。

6. トランジション

- トランジションのタイムは、バイクパートの競技時間に含まれる。
- トランジションエリア内に、競技者および特別に許可を受けた者以外の立入禁止。応援者・観戦者が入ることはできない。
- バイクラックに目印をつけることは禁止。
- バイクの乗車・降車の方法は下記のとおり。
 - <乗車> 乗車ラインを越えた後に、完全に片足が地面についてから乗車する。
 - <降車> 降車ライン手前の地面に、片足が完全について降車する。

7. フィニッシュ

- フィニッシュにおける意図的な同着は禁止。
- 同伴フィニッシュは禁止。
- 着順は、計測チップがフィニッシュライン上に達した瞬間とする。
- 選手権において複数の競技者がほぼ同時にフィニッシュした場合については、フィニッシュ TO が判定を行う。
※ 競技者の胴体の一部がフィニッシュラインを通過した瞬間を判定する。
- 明らかに周回不足と判断される場合には完走扱いとしない。
- フィニッシュエリアは、選手・関係者以外立ち入り禁止とする。
- フィニッシュした選手は、以下の流れで一方通行で行動しフィニッシュエリアを退出する。
 - 自らアンクルバンドを外して所定の回収箱へ入れる。
 - 水を受け取る。

8. リレー

- スイムおよびバイク担当選手の欠場、リタイア等にてスイム、バイク選手が競技継続不可能な場合、次の競技者による継続を認める。ただし、記録は参考記録としてチーム表彰対象とはしない。
- リレーはトランジション内スキップゾーンにおいてアンクルバンドを引き継ぐことで実施する。
-

9. その他大会ルール

- 荷物預かりは大会本部にて有料（500 円）で預かる。
- 車の Key 以外の貴重品預かりはなし。
- 選手以外の応援者・観戦者が会場内で移動できる範囲は、以下とする。
- 荷物置き用のテント（1～2 人用の小型テント）およびシート等の利用を禁止する
（風等により新車へ当たったことによる傷防止のため）

5. TO 業務

1. TO 共通事項

■ 詳細は各ポジションの業務をご確認ください

■ ミーティング関連

1) 競技開始前(TO 集合時)

TO ミーティング参加。 ※当日 06:30 の TO ミーティングは、パート毎にチーフが取りまとめて実施する。

2) 競技終了後

TO ミーティング参加。 全体ミーティングは可能な限り実施する。

実施できない場合には、パート毎にチーフが取りまとめて実施する。

■ 運営関連

1) コース設営確認・セッティング

各ポジションの配置についたら、コースの設営状況を確認し、必要に応じて競技実施の観点からコーンや案内板などのセッティングをしてください。

■ 競技関連

1) ルール違反に対する対応

注意/警告等に該当するルール違反選手については、レースナンバーの他に時間と場所を詳細に記録してください。その後、チーフに報告してください。判断に迷った場合は、チーフまたは審判長へ相談してください。

2) 計測・周回確認

計測はアンクルバンドで行います。

個人の周回確認は自己責任で行うよう回答してください。

3) リタイア時の対応

リタイア時の対応は、レースナンバーと氏名を確認しアンクルバンドを回収してください。

大会本部に無線もしくは携帯電話にてレースナンバーをリタイア理由と共に報告し、競技終了後アンクルバンドを返却してください。

4) 競技規則・ローカルルール

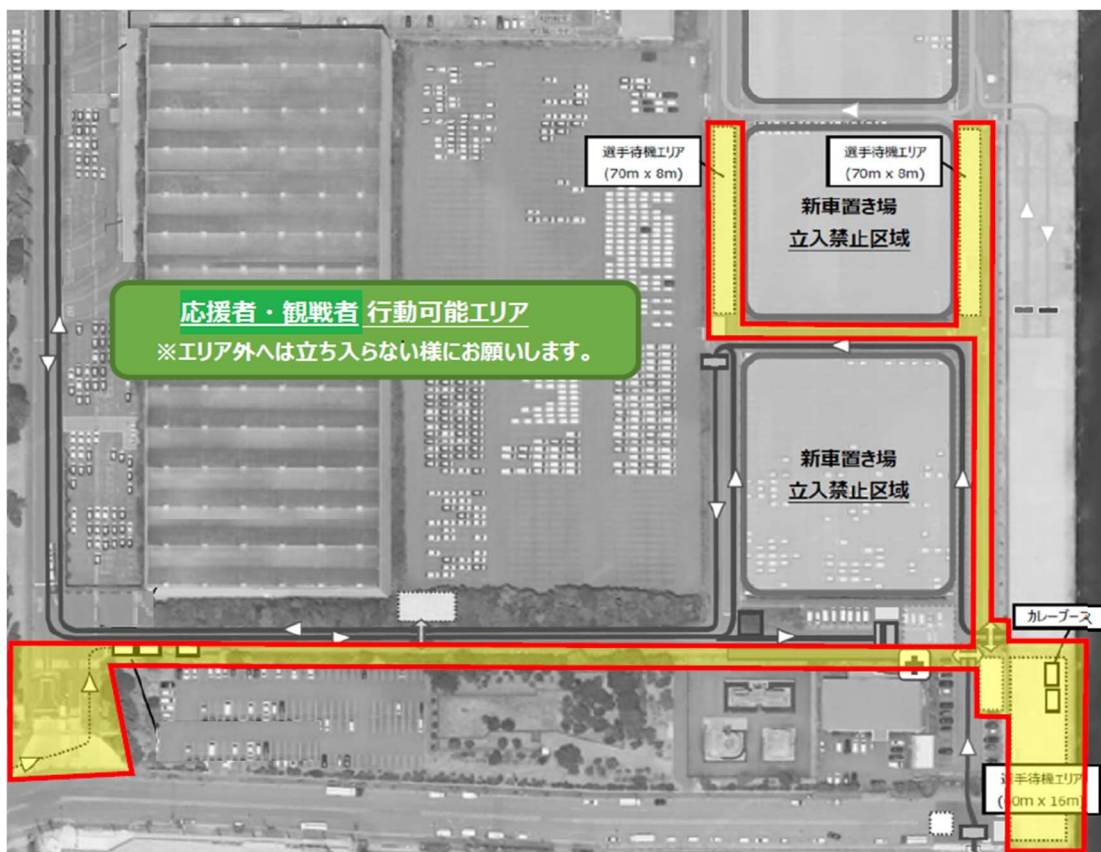
JTU 競技規則及び、大会ローカルルールに従い競技運営します。

■ 注意事項

以下、最終要項にて選手に伝達されています。徹底をお願いします。

- 1) テントはチーム用のみ持込可ですが、競技の障害にならない場所をご利用ください。他の来場者に迷惑がかからないよう場所は譲り合ってください。個人用のポップアップテントの持込はご遠慮ください。
- 2) ブルーシートは持込できますが、風で飛ばされないようご注意ください。
- 3) 熱中症対策として帽子、タオル、(氷) 保冷剤、水、経口補水液 (OS-1) 等持参で万全の準備をお願いします。
- 4) 立入禁止エリアには絶対に入らないでください。
- 5) 工場内施設や設備の撮影は禁止です。

<応援者・観戦者行動可能エリア>



※応援者・観戦者が行動可能エリア以外の区域には立ち入らないよう、近隣の TO は注意、指導する。

2. ボランティア配置

- ボランティアは受付業務終了後(8:30 頃)、下記の業務に割り当てる。(詳細はボランティアリスト参照)
 - スィム (エイド 2 名、横断路 2 名)
 - ラン (エイド 2 名、横断路 2 名)
 - フィニッシュ (エイド 2 名)

※ボランティアの引取り (8:30 頃)、ポジションへの配置および業務指示は、各パートの TO が行ってください。

3. 横断路管理

■ 横断路は下図の 3 箇所あり、担当パートを決めて対応する。(ボランティア配置)

- ① スイム→トランジション導線 → スイム担当
- ② トランジション出口ランスタート地点 → スイム担当
- ③ 更衣室導線 → ラン担当 (ボランティア 2 名)

※①と②は隣接しているので、スイム担当にて対応をお願いします。

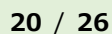
※ボランティアへの業務指示や管理は、各パートの TO が担当してください。



4. その他パート間調整業務

1) ペナルティ BOX TO フォールスタートペナルティのサポート (トランジション支援)	★トランジションパートの支援 ・選手権の部にて、フォールスタートペナルティの対象選手に対して 15 秒ペナルティの対応を、トランジションパートと連携して支援する。 (女子 : 12:15 頃、男子 : 13:40 頃、スタンバイする) スタート時に HR と確認を行い、ペナルティの対応を行うようにする。 男子は、TD がサポートする。
2) トランジション TO 選手権の部フィニッシュテープ対応 (フィニッシュ支援)	★フィニッシュパートの支援 (2 名) ・選手権の部のトップ選手フィニッシュ時に、フィニッシュテープ対応を実施する。 (女子 : 14:15 頃、男子 : 15:20 頃、スタンバイする)

19 / 26



No	計測ポイント	スプリントの部	一般の部	選手権の部
①	スイムスタート	スイムスタート スイムフィニッシュ	スイムスタート スイムフィニッシュ	- スイムフィニッシュ
②	バイク周回	バイク周回チェック	バイク周回チェック	バイク周回チェック
③	ランスタート/ラン周回	ランスタート ラン周回チェック	ランスタート ラン周回チェック	ランスタート ラン周回チェック
④	フィニッシュ	ランフィニッシュ	ランフィニッシュ	ランフィニッシュ

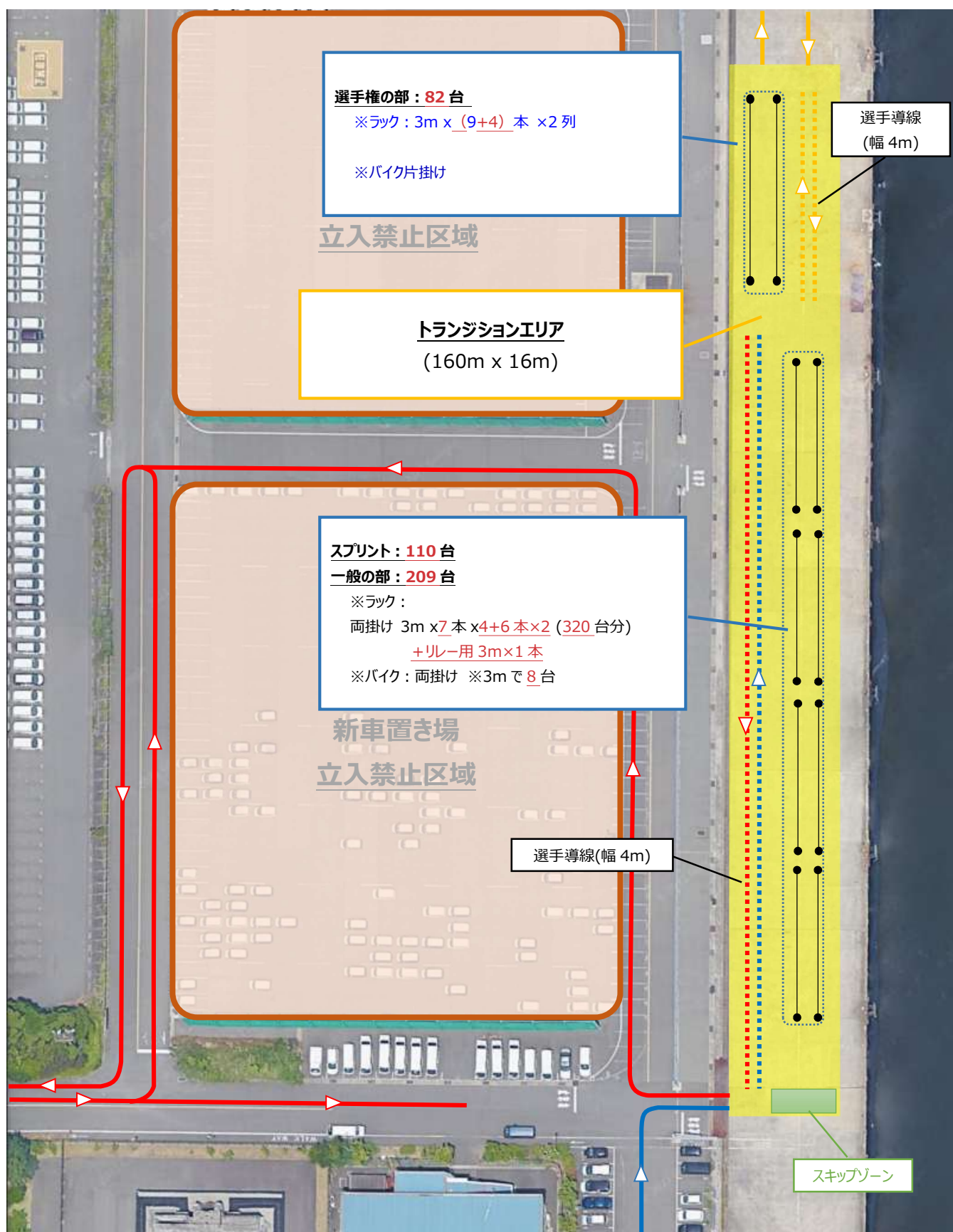


8. エリア詳細図

1. 大会本部エリア(広域図)



3. トランジションエリア



4. スイムコース図/警戒配置図



折返し地点の浅瀬を回避するため、スタート後の直線部を沖寄りに設定する、L 字の角を鋭角にするなどの対応を取る

改版履歴

版数	作成日	改版内容	改版者
第 1.0 版	2026 年 5 月 8 日	ドラフト初版作成。	花井
第 1.X 版	2026 年 X 月 XX 日	選手数などを修正	花井